

本年度の重点目標達成に向けた各分掌のテーマ及び具体的な取組

分 掌 名： 特別活動部

記入者氏名： 嶋田 仁

本年度の重点目標

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

*** 実践指針**

「追究姿勢」をすべての教育活動の根底に置くこと。これを通して、「先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する

以下年度当初の教育方針の「具体的な手立て」に沿って、各分掌、学年でさらに具体的な方策を明記して作成してください。

月	各分掌のテーマ及び具体的取組の作成及び実践 Plan～Do
4 6 月	<p>(テーマ) 生徒会・HR活動と学校行事への積極的・自発的な参加を通して、個性の伸長、豊かな人間性、自主的・協力的な態度の育成に努める。</p> <p>(具体的取組) ○年度当初に生徒会委員会を開催し、活動方針・計画などについて話し合う機会を設け、自発的な運営を促し、活性化を図る。 ○従来1年生の学年応援だった定期戦を全校応援にし、全校生徒が一体となる感動を味わわせ、帰属意識・横高生としての意識を醸成する。</p>
	各分掌の検証方法及び具体的取組の検証(1) Check
4 7 月	<p>(検証結果)</p> <p>○4月15日に生徒会委員会を開催し、生徒会規約に記されている各委員会の目標などを確認したうえで、活動方針・計画などについて話し合うことができた。 ○十数年間学年応援で実施してきた定期戦を全校応援で実施することが出来た。1年生にとっては応援練習の成果が全校応援となるということを実感できる機会となったと思われる。あまりよく知らない先輩選手を応援するだけでなく、2・3年生が同期、同窓の友人を一所懸命応援する姿をみて感じた事もあったと思う。 また定期戦当日の横手清陵学院との応援合戦では1年生に限らず、相手校に比べ自分たちの声量が十分であったか、まとまりがあったかなどを判断する機会となったと思う。</p>

	<p align="center">検証（１）から、改善のための具体的取組 Action～Do</p>
<p>8 11 月</p>	<p>(改善のための具体的取組) ○2学期が始まり、3年生が受験体制に本格的に入る機会を捉え、委員会活動でも1・2年生に主体的に動いてもらうために、第2回生徒会委員会を開催し、これまでの反省、それを基にした今後の活動計画などについて話し合う機会を設け、さらなる活動の活性化を促す。 ○生徒会規約を改正し、生徒会選挙を早めたので、新体制が発足したところで、これまでの活動を総括し、反省をふまえて新体制の活動目標を立てさせる。</p>
<p>12 2 月</p>	<p align="center">改善のための具体的取組の検証（２）、次年度に向けて Check～Plan</p> <p>・保護者アンケート（12月）</p> <p>(検証結果) ○第2回生徒会委員会の開催により、反省と今後の展望を確認する機会が得られたことは良かったと思われる。これまではそのような会がなかったので、最上級生の3年生が卒業してしまうと、活動の中心を担ってきた生徒たちの思いを引き継ぐことができなかったが、第2回委員会の実施で、それができたと思っている。 ○生徒会選挙をこれまでよりも早く実施したことで、新執行部が早く発足し、様々な取り組みをしている。その成果はまだわからないが、1・2年生の意欲的な取り組みにつながったと思う。 ○保護者アンケートに関しては、同じ事に関しても保護者のとらえ方が全く反対である実態もあり、また各意見がどれくらい親に共有されているものかが判断できかねるので、個々の要望等にたいして応えることは難しいと思う。 特に部活動に関する意見や要望が多いようだが、顧問の先生方のボランティアで成り立っている実態を理解していただきながら、顧問の先生方にはサイレント・マジョリティーの声に耳を傾け、より円滑な部活動の運営のために保護者に活動方針などに関して理解をしていただくような取り組みをお願いしたい。</p> <p>(次年度に向けて) ○生徒会委員会のより自主的な運営を促す工夫。 ○準備期間がより短くなりそうな来年度の美入野祭への取り組み。 ○文武両道を実践させながら、部活動で専門的な指導ができる教員の配置をお願いしたい。</p>
	<p align="center">(外部評価) 3月16日 第2回学校評議員会・学校評価委員会</p> <p>評価はA 今年度は様々な新しい取組を実践して頂いた。全校応援の野球部の定期戦、各委員会の会議、生徒会役員及び生徒会委員会の早期交替等、昨年度からの懸案事項を円滑に進めて頂いた。次年度は質の向上をお願いしたい。</p>